

建設通信新聞

品質管理優秀賞 受賞4者を表彰

測量協九州

令和8年 公共測量品質管理優秀表彰式
公益社団法人 日本測量協会 九州支部



日本測量協会九州支部技術センター(山本宏章センター長)は8日、福岡市内のホテルで2026年度公共測量品質管理優秀賞の表彰式を開いた。写真。基準点部門で選ばれた扇精光コンサルタンツ(長崎市)と光栄測量設計(長崎県五島市)、大東エンジニアリング(沖縄県浦添市)、地図部門のエアロトヨタ西日

本空情支社福岡支店(福岡市)の4者に協会本部の住田英二専務理事が記念の盾を手渡した。

表彰制度は、05年4月の公共工事品質確保促進法の施行を機に創設し、今回で22回目を迎える。住田理事は「引き続き確かな品質の成果をつくり続けてほしい」と述べ、若手育成の観点からも品質確保の重要性を強調した。

初受賞となった光栄測量設計の山本祐樹氏は「測量業務に携わって基準点測量の奥深さを知った。技術や理解を深め、成長に努めたい」と述べた。

表彰式の前には同支部の第63回定時業務報告会を開き、26年度事業計画・収支予算などを報告。横山巖支部長は「支部の活動内容がしっかりと伝わるとともに皆さんの交流が深まり、今後の活動のさらなる発展につながることを祈念する」とあいさつした。式終了後には、国土地理院基本図情報部の野口真弓国土基

本情報課長が「最近の電子国土基本図等に関する取組」3次元化に向けて」をテーマに講演した。